

## NEWS LETTER

VOL. 2  
FEB. 2018

## 2018 グローバルヘルス関係主要国連機関の人事政策動向とセンターの活動

中谷比呂樹センター長は、年明け早々、ニューヨーク（UNDP, UNFPA, UNICEF）、ジュネーブ（WHO）、マニラ（WHO/WPRO, ADB）に赴き、人事担当部長等より人事政策動向に関する情報入手し、意見交換をしました。その要旨は：

- ▶ 国連は趨勢として本部の肥大化の防止と国レベルの機能強化を掲げており、それがリクルートメントにも反映されつつある。即ち、本部の新規採用は抑制的で、国レベルのリクルートの可能性がある。
- ▶ 我が国の職員過少は良く認識されており、また、女性登用の趨勢も加速しているため、邦人、特に女性の競争力は相対的に高まっている。
- ▶ WHO には、テドロス新事務局長が着任し、組織の見直しを行っているため、本部は3月末までの予定で原則新規採用を凍結中。（なお、機能維持のための幹部ポスト、例えばIT部長、MCH部長、高齢者部長などは公募中・予定なので注意が必要）。新事務局長は女性登用、各国駐在のWHO事務所の強化を掲げており、途上国における比較的ジュニアなポストは継続して募集される見込み。
- ▶ ただし、2019年より人事の新陳代謝を図るとして地域ローテーションが始まるため、地域事務局や国事務所で空席が生じた場合、まず内部で異動可能な人が割り当てられる可能性がある。更に、65歳への定年延長が始まるため、WHOへの送り込みは困難さが増しているとの認識すべきである。
- ▶ UNICEFとUNFPAについては、JPO制度に加えて、New and Emerging Talent Initiative（UNICEF）、Secondment及びGratis Personnel制度、Leadership Pool Assessment（UNFPA）、国際機関キャリア開発セミナー（UNFPA）、我が国への採用ミッションの派遣など邦人職員採用のための様々な制度・機会があるため、これらと連携した上での職員の送り込みが可能である。また、UNDPはグローバルファンドのPrincipal Recipientとしての保健関連ポストが国レベルで約350ポストあり、こうしたポストへ邦人を送り込む可能性もある。
- ▶ 上記すべての機関には、インターン及びボランティアの制度があり、将来国連機関への就職を希望する学部生及び卒業生が、まず社会経験を積む上で活用できる。

また、各地を訪問する機会をとらえて、各地の邦人国連機関職員、留学生の皆様へ当センターの説明をするとともに意見交換会を持ちました。

これらは2018年2月13日に開催されたアドバイザリー・グループ会議に報告されました。国連機関への送り込みは困難さを増しているからこそ、中堅以上の空席情報を事前に把握して候補者、特に



2018年1月16日、国連日本政府代表部で行われたグローバルヘルス人材戦略センター説明会・意見交換会の様子

女性候補を発掘して競争力を強化することは（ポストが少なくなるなかで）ますます重要となるという認識のもと、データベースの開発の促進、競争力を高めるための研修会の開催、非保健職種のためのグローバルヘルス・キャリア開発などの必要性などに関してご指摘を頂き、2018年度の事業に反映させてゆくこととしています。

## センターの活動状況

## 人材情報解析官の着任

2018年1月4日付けで地引英理子さんが着任しました。地引さんは国連世界食糧計画（WFP）、外務省、NGO等において、感染症、母子保健、リプロダクティブ・ヘルス、栄養等の国際保健分野で活動してきました。特に外務省では、UNICEF、Gavi、IPPF（国際家族計画連盟）等の国際機関を幅広く担当し、政府の立場からこれら機関との連携を図ってきました。また、日本国内及び国際的なNGOとの連携にも努めてきました。こうした経験を活かし、保健関係の国連機関に加え、官民連携パートナーシップ、国際NGO等とも連携し、邦人職員の増強に努めていきたいと思っております。

## ■ これからの予定

**世界保健機関（WHO）  
ガイドライン開発への  
参加を目指したキャリア・  
ディベロップメント  
ワークショップ開催**

国際的存在感を示す道の一つは、国際的な基準作りを行うことです。残念ながら我が国からの参加は多くはありません。そのため、将来、専門家として基準作りに参画するにはどうすればよいのかをワークショップ形式で学ぶイベントを企画しており、現在、参加者を募集しています。（応募者が多数の場合は経験などを勘案して募集枠を埋めることもあるにご留意ください）。詳しくは <http://hrc-gh.jp/> をご覧ください。